

2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロネクサス

コード番号 7893 URL <https://www.pronexus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 剛史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 大和田 雅博 TEL 03-5777-3111

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,435	△0.5	2,710	△2.6	2,718	△2.6	1,850	△3.2	1,848	△3.2	1,895	1.0
2020年3月期第1四半期	9,481	-	2,781	-	2,792	-	1,911	-	1,910	-	1,876	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	68.65	-
2020年3月期第1四半期	70.74	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,290	23,997	23,940	64.2
2020年3月期	33,049	22,506	22,451	67.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	17.00	-	15.00	32.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 2021年3月期第2四半期末配当金(予想)17円00銭は、普通配当15円00銭と創業90周年記念配当2円00銭の合計額です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い業績影響の算定が現段階では困難であることから、未定としております。

当第1四半期については一部製品に新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響があったものの、概ね前年同期並みの業績となりました。しかしながら、第1四半期は株主総会招集通知や有価証券報告書等、市況の影響を受けにくい「定期製品」の比率が相対的に高い特性があります。一方、第2四半期以降は市況の影響を受けやすい「非定期製品」の比率が高いことから、現在、直近の受注動向や今後の市場動向の分析を行っております。

業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	30,716,688株	2020年3月期	30,716,688株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,797,232株	2020年3月期	3,797,152株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	26,919,525株	2020年3月期1Q	27,004,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い業績影響の算定が現段階では困難であることから、未定としております。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、第2四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催し、決算説明会で配布した資料、説明内容（映像及び音声）を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① わが国経済の状況

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、企業活動や個人の消費活動が大幅な制限を受けることを余儀なくされ、大きなマイナス影響を受けました。国内においては緊急事態宣言解除後、これまで制限を受けていた経済活動が徐々に再開されつつあるものの、国内・海外ともに感染拡大の状況及び経済の見通しは予断を許さない状況にあります。一方、当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、このような状況への警戒感から緊急事態宣言発令中に下落していた日経平均株価が徐々に回復し、期初の18,000円台から22,000円台まで上昇いたしました。

② 業績の概況

当第1四半期は、コーポレートガバナンス・コードを背景とした投資家への情報提供強化の動きがより幅広い企業に浸透し、招集通知やIR関連製品の売上が増加いたしました。加えて、M&AによりWeb関連の売上が増加しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により3月決算企業の有価証券報告書の提出が一部7月にずれ込んだこと、金融商品ディスクロージャー関連製品の減収等のマイナス要因もあり、当第1四半期の連結売上収益は、前年同期比46百万円減（同0.5%減）の9,435百万円となりました。

体制強化に伴う労務費・人件費が増加したほか、新型コロナウイルス感染症対策費用を新たに計上いたしました。この結果、営業利益は前年同期比71百万円減（同2.6%減）の2,710百万円となりました。また、税引前四半期利益は前年同期比74百万円減（同2.6%減）の2,718百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比62百万円減（同3.2%減）の1,848百万円となりました。

1) 製品別の販売動向

<上場会社ディスクロージャー関連>

招集通知のカラー化による増収に加えて、開示書類作成を支援するシステムサービス・アウトソーシングサービスの増収も寄与いたしました。これらの増収効果が前述の有価証券報告書の7月へのずれ込み影響を補い、上場会社ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比35百万円増（同0.7%増）の5,231百万円となりました。

<上場会社IR関連等>

コーポレートガバナンス・コードの制定を背景として、IRサイト構築等のWebサービスや英文翻訳サービス等の受注が増加いたしました。また、2019年10月1日付で連結子会社化した、Web制作会社の株式会社レインボー・ジャパンの売上も加わりました。これらの結果、上場会社IR関連等の売上収益は、前年同期比103百万円増（同4.3%増）の2,503百万円となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

国内投資信託市場は、一部ファンドの新規設定が減速し、主力製品である目論見書等が減収となりました。また、J-REIT市場のIPO・ファイナンス関連製品や、外国投信・外国債券関連製品も減収となりました。一方、金融商品の各種販促ツールや金融機関のディスクロージャー誌等は増収となりました。これらの結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比187百万円減（同11.6%減）の1,428百万円となりました。

<データベース関連>

データベース関連では、一部の解約を上回る新規開拓が進展しました。これらの結果、データベース関連の売上収益は前年同期比3百万円増（同1.1%増）の273百万円となりました。

(製品区分別売上)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	5,196,028	54.8	5,231,378	55.4	35,350	0.7
上場会社IR関連等	2,400,675	25.3	2,503,364	26.5	102,689	4.3
金融商品ディスクロージャー関連	1,614,301	17.0	1,427,757	15.1	△186,544	△11.6
データベース関連	269,858	2.9	272,712	3.0	2,854	1.1
合計	9,480,862	100.0	9,435,211	100.0	△45,651	△0.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 利益の概況

当第1四半期の売上収益は、金融商品ディスクロージャー関連における減収がその他の製品区分における増収を上回り、46百万円の減少となりました。売上原価は、受注減により外注費が減少したものの、制作体制の強化による労務費の増加もあり、15百万円減少にとどまりました。これにより売上原価率は前年同期比0.1ポイント増の52.2%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比31百万円減(同0.7%減)の4,508百万円となりました。一方、販管費は営業体制強化に伴う人件費増や新型コロナウイルス感染症対策費用等により、前年同期比40百万円増(同2.3%増)の1,817百万円となりました。販管費率は前年同期比0.6ポイント増の19.3%となりました。これらにその他の収益及び費用を加減した結果、営業利益は前年同期比71百万円減(同2.6%減)の2,710百万円となりました。

金融収益は受取配当金等により16百万円、金融費用は2百万円となりました。持分法による投資損失は5百万円となりました。これらの加減により、税引前四半期利益は前年同期比74百万円減(同2.6%減)の2,718百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比62百万円減(同3.2%減)の1,848百万円となりました。

③ 第1四半期の季節性

当社グループの売上の約3分の2を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約65%が3月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が集中する第1四半期連結会計期間(4-6月期)の売上収益が、下表のとおり最も多くなっております。

(参考) 2020年3月期

	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上収益 (百万円)	9,481	4,602	5,161	5,202	24,446
構成比 (%)	38.8	18.8	21.1	21.3	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの第1四半期連結会計期間末は、前述の季節的要因((1)－③)により、資産合計、負債合計、資本合計とも、前連結会計年度末に比べ例年大きく増加いたします。当第1四半期連結会計期間末も以下のとおり同様の傾向となっております。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,241百万円増加し37,290百万円となりました。主な要因は、営業債権及びその他の債権の増加3,632百万円、現金及び現金同等物の増加423百万円及びその他の金融資産（非流動資産）の増加118百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,750百万円増加し13,293百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加640百万円、契約負債の増加1,100百万円及びその他の流動負債の増加563百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,491百万円増加し23,997百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,848百万円の計上による増加と剰余金の配当404百万円による減少等であります。この結果、親会社所有者帰属持分比率は、64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

<当期の見通し>

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い業績影響の算定が現段階では困難であることから、未定としております。

当第1四半期については一部製品に新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響があったものの、概ね前年同期並みの業績となりました。しかしながら、第1四半期は株主総会招集通知や有価証券報告書等、市況の影響を受けにくい「定期製品」の比率が相対的に高い特性があります。一方、第2四半期以降は市況の影響を受けやすい「非定期製品」の比率が高いことから、現在、直近の受注動向や今後の市場動向の分析を行っております。

業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,910,898	12,334,282
営業債権及びその他の債権	2,548,657	6,180,528
その他の金融資産	2,310,915	2,217,629
棚卸資産	511,471	454,415
その他の流動資産	283,600	362,350
流動資産合計	17,565,541	21,549,203
非流動資産		
有形固定資産	4,657,122	4,741,739
使用権資産	1,988,261	1,915,204
のれん	304,485	304,802
無形資産	2,246,279	2,352,222
投資不動産	186,322	186,322
持分法で会計処理されている投資	728,142	706,896
その他の金融資産	4,233,973	4,352,462
繰延税金資産	1,078,340	1,104,029
その他の非流動資産	60,678	77,564
非流動資産合計	15,483,602	15,741,240
資産合計	33,049,144	37,290,443
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	56,672	56,672
リース負債	752,312	727,583
営業債務及びその他の債務	1,434,026	2,074,011
未払法人所得税等	689,136	992,314
契約負債	651,858	1,751,790
その他の流動負債	2,517,150	3,080,397
流動負債合計	6,101,154	8,682,768
非流動負債		
借入金	8,324	306,656
リース負債	1,262,247	1,222,397
退職給付に係る負債	2,523,384	2,433,820
引当金	188,201	188,273
その他の非流動負債	459,592	459,432
非流動負債合計	4,441,749	4,610,578
負債合計	10,542,902	13,293,346
資本		
資本金	3,058,651	3,058,651
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
自己株式	△3,801,143	△3,801,230
その他の資本の構成要素	348,191	392,910
利益剰余金	18,162,035	19,606,384
親会社の所有者に帰属する持分合計	22,451,330	23,940,310
非支配持分	54,911	56,787
資本合計	22,506,241	23,997,097
負債及び資本合計	33,049,144	37,290,443

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	9,480,862	9,435,211
売上原価	△4,941,432	△4,926,832
売上総利益	4,539,431	4,508,379
販売費及び一般管理費	△1,777,087	△1,817,383
その他の収益	19,470	24,007
その他の費用	△1,147	△5,392
営業利益	2,780,667	2,709,612
金融収益	12,681	15,563
金融費用	△3,587	△2,190
持分法による投資損益 (△は損失)	2,465	△4,610
税引前四半期利益	2,792,227	2,718,375
法人所得税費用	△881,023	△868,475
四半期利益	1,911,204	1,849,901
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,910,145	1,848,142
非支配持分	1,060	1,759
四半期利益	1,911,204	1,849,901
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	70.74	68.65
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	1,911,204	1,849,901
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	△28,035	38,765
純損益に振り替えられることのない項目合計	△28,035	38,765
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,730	6,071
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△6,730	6,071
税引後その他の包括利益	△34,765	44,835
四半期包括利益	1,876,440	1,894,736
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,875,380	1,892,860
非支配持分	1,060	1,876
四半期包括利益	1,876,440	1,894,736

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2019年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,324,251	△12,249	381,514	369,265
四半期利益						
その他の包括利益				△6,730	△28,035	△34,765
四半期包括利益合計	—	—	—	△6,730	△28,035	△34,765
自己株式の取得			△476,892			
配当金						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					51	51
所有者との取引額合計	—	—	△476,892	—	51	51
2019年6月30日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△18,979	353,529	334,551

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2019年4月1日時点の残高	17,117,366	21,904,626	43,231	21,947,857
四半期利益	1,910,145	1,910,145	1,060	1,911,204
その他の包括利益		△34,765		△34,765
四半期包括利益合計	1,910,145	1,875,380	1,060	1,876,440
自己株式の取得		△476,892		△476,892
配当金	△409,226	△409,226		△409,226
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△51	—		—
所有者との取引額合計	△409,277	△886,118	—	△886,118
2019年6月30日時点の残高	18,618,233	22,893,888	44,291	22,938,179

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2020年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	348,191
四半期利益						—
その他の包括利益				5,954	38,765	44,718
四半期包括利益合計	—	—	—	5,954	38,765	44,718
自己株式の取得			△87			—
配当金						—
所有者との取引額合計	—	—	△87	—	—	—
2020年6月30日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,230	△8,416	401,326	392,910

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日時点の残高	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241
四半期利益	1,848,142	1,848,142	1,759	1,849,901
その他の包括利益		44,718	117	44,835
四半期包括利益合計	1,848,142	1,892,860	1,876	1,894,736
自己株式の取得		△87		△87
配当金	△403,793	△403,793		△403,793
所有者との取引額合計	△403,793	△403,880	—	△403,880
2020年6月30日時点の残高	19,606,384	23,940,310	56,787	23,997,097

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。